



サケの^{たまご}卵をなぜイクラというの

ロシア語で魚の卵の意味

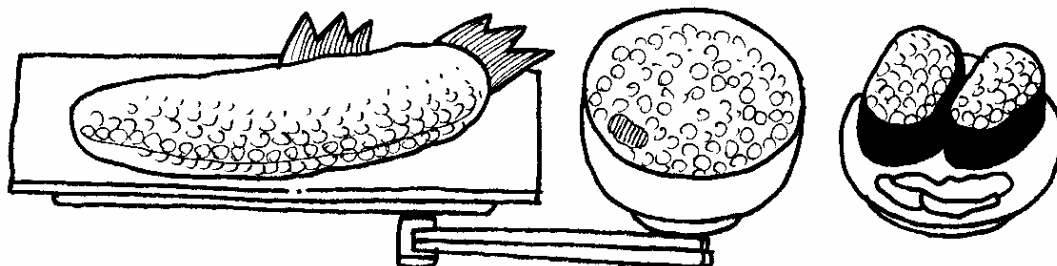
サケの本格的な^{ほんかくてき}漁業^{ぎょぎょう}が、ロシア^{りょうえんがん}領沿岸^{ていちなみ}の定置網^{あみ}、さし網^{はじ}などから始まったためなのでしょう。「イクラ」はロシア語です。ロシア語で、魚^{さかな}の卵^{たまご}の意味です。とれたてのサケやマスの、よく^{そだ}育て^{たまご}卵^{たまご}のつぶ^{たまご}がはなれやすくなった、卵^{たまご}のかたまり^{らん}(卵^{らん}のう)をもみほぐし、1つぶ1つぶをばらばらにはなし、塩水^{しおみず}につけてつく^{つく}った^た食べ物^{もの}が、「イクラ」です。

すじこ

すじこもサケの^{たまご}卵^{たまご}で、「^{すじこ}筋子」と書きます。「^{らん}卵のう」とよばれる、うすくて^{とうめい}透明^{たまご}な卵^{たまご}ぶくろに包まれた、サケの^{たまご}卵^{たまご}のかたまりをいいます。卵^{たまご}は、まだ完全^{かんぜん}に育て^{そだ}ては^{そだ}いませんので、1つぶずつ、ばらばらには^き切り^きはなせません。大きな卵^{らん}のうに入^{はい}った^{かたち}ままの^{しお}形^{しお}で、塩^{しお}づけにした^た食べ物^{もの}です。おもに、シロザケ、ベニザケ、マスなどの^{たまご}卵^{たまご}が使^{つか}われます。

赤い自然の色の卵

イクラもすじこも、サケの、お^{なか}腹^とから^だ取り^だ出した^{しぜん}ままの、自然^{あか}の^{いろ}赤^{いろ}い色^{いろ}をしています。たらこはスケトウタラという^{さかな}魚^{たまご}の卵^{たまご}ですが、これは、おいし^みそう^みに見^みせる^{あかいろ}ため、赤^{あかいろ}色^{いろ}に^そ染^うめて^そ売^うられている^{おお}ことが^{むちゃくしょく}多い^うよう^うです。無^む着^{ちやく}色^{しょく}たらこ^うとして^う売^うられている^{しぜん}のが、自然^{しぜん}の^{いろ}たらこ^{いろ}の色^{いろ}です。(監修・杉浦 宏)



かたまりになった「すじこ」

1つぶずつ分かれたイクラ

